



新年明けましておめでとうございます。今年もクマタカ通信は、揖斐川砂防出張所管内の工事状況、越美山系砂防事務所が行っている事業・防災・広報活動などに関する事及び、地域や季節の話題等についてお届けします。本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成27年 新春のごあいさつ

年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。昨年では全国的に土砂災害の多い1年でありました。8月には広島で、これまでに経験したことのない豪雨により土石流が集中的に発生し、74名もの尊い命が奪われる大規模な土砂災害が起きました。また、7月の長野県南木曾の土石流災害、8月の高山の水害・土砂災害、9月の御嶽山噴火なども痛ましい災害でありました。管内でも8月の台風11号で、根尾大河原地区で土石流が発生した他、能郷集落が一時孤立するなどの被害を受けました。私自身もあらためて土砂災害対策の重要性を心すると共に、事務所職員や施工業者の皆様の協力を得ながら、管内の対策を一刻でも早く推進できるように取り組んでまいります。



一方で、常々申し上げているところではありますが、

土砂災害は砂防施設のみで十分に防げるものではありません。早期避難がもっとも重要です。広島の災害を受けて昨年改正された土砂災害防止法により、住民の皆様が避難の判断をするために必要な情報が確実に届けられるよう、様々な取り組みが始まっています。皆様にも新年に当たって今一度、市町から配布されているハザードマップ等で、お住まいの地域がどのような災害に対して危険か、災害の種類に応じた避難場所や避難経路はどこかなどを点検していただくようお願いいたします。

本年は、越美山系砂防事務所開設の契機となりました昭和40年の奥越豪雨から50年目の節目の年です。事務所の事業ははまだ道半ばではございますが、これまでの皆様のご支援とご協力に感謝すると共に、これからも地域の安全・安心を守ることを第一に取り組んでまいりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

越美山系砂防事務所長 岩男 忠明

「奥越豪雨」から50年

今年には越美山系砂防事務所が発足する契機となった、「奥越（おくえつ）豪雨」（昭和40年（1965）9月発生）より、50年の節目の年となります。この間、当事務所では、揖斐川・根尾川流域で、土砂災害から地域の皆さまの安全な暮らしを守るため、砂防堰堤などの砂防施設を建設する、砂防事業を行ってきました。

揖斐川流域は古来より水害に襲われ、この地域の治水の歴史は、先人から引き継がれてきた厳しい水との闘いの歴史でもあります。そこで、揖斐川流域の砂防の始まりと言われている「享保の砂留」について紹介します。

砂防の始まり「享保の砂留」

「砂留（すなどめ）」といわれる溪流工事としてよく知られているのは、揖斐川筋で行われた「享保の砂留」である。今からさかのぼること約290年前、享保14年（1729）に、北方村丹原（現：揖斐川町北方）で砂防工事が施工されたことが『北方役場文書』に残されている。この「享保の砂留」こそ、揖斐川流域での砂防工事の始まりといえるものである。

岐阜県には、木曾・長良・揖斐という三大河川をはじめ、6水系 大小410余の河川があり、その延長はおよそ3,250kmにも及んでいる。古くは「飛山濃水の国」と呼ばれ、美しい水と緑に恵まれた国として誇っていた。しかし反面、地形・地域特性から、全国でも有数の風水害に見舞われる土地柄でもあった。それは、取りも直さず、先人から引き継がれてきた厳しい水との闘いの歴史でもある。

『北方役場文書』には、砂留にかかった費用が『丹原左衛門外砂留日金請取文書』として提示されている。

揖斐川流域は古くから水害に襲われ、堤防の決壊や田畑の流失も毎年のように起き、被害も甚大なものがあつたようである。こうした地域特性だからこそ、国内でも古くから注視され、江戸幕府も国普請に特別な意を用いたようである。明治になってからも、政府はいち早くオランダの技師デ・レーケを実地調査に派遣し、直轄砂防事業を実施している。

日本の砂防技術も、1700年代に入ると筋柴留、飛末留、杭柵留、鎧留、石垣留、逆松留、築留、石堰、蛇籠留の9種類の工法が用いられた。しかし残念ながら、揖斐川筋で施工された「享保の砂留」が、どのような形のものであり、その工法は…となると非常に心もとない。『丹原左衛門外砂留日金請取文書』から読み取れる、「砂と栗の木材と大石…」を用いたということだけが判読出来るのみである。

出典：越美山系砂防工事事務所史

発行：越美山系砂防工事事務所 平成10年10月



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp